

児童養護施設等の大学等進学のための奨学金

I 返済義務のない給付・助成制度 (○：受給可能性が高い △：受給可能性が低い・やや低い・不明)

1. 大学進学支度金・各種学校等進学支度金 (東京都による補助) ○

<実施者>東京都

<給付内容>大学・短大：700,000円 各種学校：600,000円 (何れも上限)

<対象>児童養護施設及び養育家庭の東京都による措置児童で、措置解除後、大学等や各種学校で修学する者

<備考>東京都の全措置児童に適用される。初年納入金が対象。

2. 雨宮児童福祉財団修学助成 (全国) ○

<実施者>財団法人 雨宮児童福祉財団

<助成内容>入学金実費分

<対象>全国の児童福祉施設に入所している児童及び里親のもとにいる児童で、高校卒業後進学を希望し、大学等や専門学校に合格した者の内、他の機関から返済義務のない入学金の助成を受けていない者

3. 大学進学等自立生活支度費 (国による補助) ○

<実施者>各都道府県及び指定都市

<給付内容> 支度費 81,260円 (2015年度)

特別基準分 194,930円

計 276,190円

・就職支度費同様、措置解除時に支度費及び一時金として給付

<対象>

・「支度費」は、措置解除後、大学等や各種学校に修学する者

・「特別基準分」は上記に加え、保護者がいないか、いても適切な養育が出来ず、経済的援助が見込めない児童について施設長、里親、児童相談所長の意見に基づき、各都道府県及び指定都市が要否を判断

<備考>

・生活諸経費等に対する一時金的補助であり、基本的に他の奨学金受給を妨げる性質のものではない

・夜間の学校等に進学し同時に就職した場合、「就職支度費」との併給が可能

4. 西脇基金 (社会福祉法人東京都社会福祉協議会児童福祉友愛互助会・東京都) ○

<実施者>社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

<助成内容>在学中に学校へ納入する学費の援助金として、月額2万円を助成

<対象>東京都から委託を受けている児童養護施設、里親、児童自立支援施設および自立援助ホームのうち、毎年度友愛基金の会費を納めている会員に対し、児童が大学等に進学した際の補助を行う

5. 読売光と愛・郡司ひさる基金奨学制度（全国）△

＜実施者＞社会福祉法人読売光と愛の事業団

＜助成内容＞

- ・進学した各学校の授業料を主たる基準とした学費で、卒業するまで年額 50 万円を限度に助成。ただし、退学、休学、留年の際は補助を打ち切る。病気や事故等やむを得ない場合は事情を考慮する
- ・卒業後、更に大学院等の上級教育機関に進学する場合は助成の再申請ができ、審査をパスした者には助成を継続する

＜対象＞

- ・全国の児童養護施設に在籍する児童で高校を卒業し、大学等や専門学校の入學試験に合格した者。その中でも向上心旺盛で、特に経済的援助を必要とし、予定年限の修学が十分可能な者を対象とする
- ・大学生等や専門学校生とも若干名。原則として他機関からの奨学金を受けない者。ただし、日本学生支援機構や雨宮児童福祉財団の助成など一時的、少額の場合は併給可

＜備考＞例年 100 名程の応募に対し、助成決定者は大学などや専門学校合わせて 10 名程。補助額は大きい代わりに、競争率が高い

6. JX児童養護施設・母子生活支援施設奨学助成（全国）○

＜実施者＞社会福祉法人 全国社会福祉協議会

＜助成内容＞新入学時に 10 万円を助成。他の奨学金との併給可

＜対象＞高校卒業後、大学などや専門学校等に進学を予定している児童で、全国の児童養護施設および母子生活支援施設、里親家庭に入所している児童、及び退所した児童（原則 20 歳未満。里親家庭の場合は措置解除後、引き続き里親家庭で同居しているもの）

7. 楽天 未来のつばさ 自立奨学支援資金（全国）△

＜実施者＞公益財団法人 楽天未来のつばさ

＜助成内容＞進学・就職共に支度金として一律 15 万円を支給

＜対象＞児童養護施設、里親、母子生活支援施設その他の児童福祉施設の入所児童で大学等に合格した者及び就職する者

8. メイスン財団奨学制度（全国）△

＜実施者＞財団法人東京メソニック協会

＜助成内容＞

- ・現に在学している学校の授業料について、卒業するまで年額 50 万円を限度に助成
- ・ただし、退学、休学、留年の際は補助を打ち切る。災害や傷病による休学・留年の場合は考慮する

＜対象＞

- ・全国の児童養護施設を退所し（措置延長者含む）、高校卒業後、大学等や専門学校に進学する向上心旺盛で、特に経済的援助を必要とする者より毎年選考をする
- ・ただし、他の機関から授業料の助成を現に受けている者、及び授業料免除の者（特待生等）は除く。（授業料以外の助成との併給は可。例：雨宮児童福祉財団の入学助成、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金など）

<備考>

- ・読売光と愛・郡司ひさる基金奨学制度等との併給は不可
- ・補助額が大きいのが、毎年、新規の助成予定人数は3名程度

9. 資生堂児童福祉奨学生（全国）△

<実施者>財団法人 資生堂社会福祉事業団

<助成内容>学費等の補助として年額 50 万円を支給

<対象>将来、児童福祉分野で活動を行うために、大学等や専門学校へ入学する者

<備考>

- ・作文を中心とした書類による一次審査、面接による二次審査がある
- ・募集人数は5名程度
- ・対象の学部等は、児童指導員資格を取得できる社会福祉学および心理学に関する学部、社会福祉士受験資格を取得できる学部、厚生労働大臣の認可を受けた保育士および介護福祉士養成校

10. 産経新聞 明日への旅立ち基金（東北・関東・信州等）△

<実施者>産経新聞厚生文化事業団

<助成内容>在学期間中の毎年 50 万円

<対象>東日本地域の児童養護施設に入所中で、大学・短期大学・専門学校等に進学を予定している者

11. アトム基金 進級応援助成制度（全国）○～△

<実施者>全国児童養護施設協議会

<助成内容>進級時に 3 万円を助成

<対象>下記①～③の全てを満たす者

- ①児童養護施設に入所していた児童で、高等学校卒業後、大学・短期大学・専門学校等に進学し、その後、当該進学先の2年次目以上に進級した（する）者（措置継続により入所中の者も対象）
- ②過去にアトム基金進級応援助成を受けていない者
- ③入所していた児童養護施設と連絡をとることが可能な者で、児童養護施設を通して助成金を受け取ることが可能な者

12. カナエール（東京・千葉・神奈川・埼玉・福岡等）△

<実施者>NPO法人ブリッジフォースマイル

<助成内容>一時金「30万円」・継続支援金「卒業まで月3万円」

<対象>東京、千葉、神奈川、埼玉県内等にある児童養護施設入所者・退所者で、次のいずれかを満たす者

- ①大学等に進学を希望する高校2,3年生
- ②大学等に進学途中で、卒業まで1年以上残っている学生

<備考>

・進学後に中途退学した場合は奨学金の返済を求められる場合あり

・東京、横浜、福岡の3会場で実施

13. 施設や里親家庭で暮らしている若者への入学支援金（全国）△

＜実施者＞日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）

＜助成内容＞入学時に収める費用の上限50万円まで助成

＜対象＞全国の児童養護施設等の施設や里親家庭で生活していて、大学、短期大学、専門学校等への進学を希望する高校3年生。原則として他の財団・企業・自治体などからの「入学に当たっての助成金」の利用が決定していない者が対象。なお、入学金免除の方や、入学金がない学校へ入学する者は対象外

14. タイガーマスク基金（全国）△

＜実施者＞NPO法人ファザーリングジャパン

＜助成内容＞初年度12万円、次年度以降、進級時に毎年6万円。（四年間で30万円、医歯薬・獣医学部等の六年制大学は42万円）

＜対象＞児童養護施設や自立援助ホームなどの児童福祉施設を退所し、4月から大学進学が決定し、退所後も在籍していた施設を通じ、連絡を取ることが可能な児童。（最大50名）

15. 朝日新聞 児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金（東京以外）△

＜実施者＞朝日新聞厚生文化事業団

＜助成内容＞4年制大学、短期大学、専門学校の入学金、施設設備費など入学時に納入する費用（授業料は除く）上限100万円までを助成。入学金、施設設備費などが100万円に満たない場合は、新生活への支度金（10万円まで）を合わせて助成。返済不要。なお、入学金免除の者、入学金のない学校へ進学する場合は対象にならない
※学生自治会費、後援会費などの諸会費は支度金（10万円）の活用可

＜対象者＞児童養護施設や里親家庭に生活し、進学を希望する高校3年生（高卒認定合格見込み者含む）。東京都は対象外。募集人数は20人程度

16. 鯉淵記念母子福祉助成事業「母子生活支援施設等に入所する子等への就学資金助成事業」△

＜実施者＞社会福祉法人 全国社会福祉協議会

＜助成内容＞

- ・入学時の支度金として就学資金を助成
- ・1人あたり20万円を限度とし（助成は1人1回のみ）、年間40名に助成

＜対象者＞

- ・母子生活支援施設に入所中の子
- ・母子生活支援施設を退所後2年以内の子
- ・児童養護施設に入所する母子家庭の子

17. ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プログラム △

<実施者>東京都社会福祉協議会 ゴールドマン・サックス

<助成内容>

- ・学習費 (高校3年の7月から大学入学までの学習塾利用に関する経費)
- ・修学資金 (公的な奨学金を全て利用した上で、不足する4年間の学費全額と生活費月額8万円を支援する)
- ・ケースワーカーによる個別面談

<対象>都内の児童福祉施設から4年生大学への進学する者

<備考>今年度から高校2年の3月末の申請となり、高校3年の塾経費から入学後の資金も含めた支援が受けられることとなる

18. PMJホープチェスト ○

<事務局> 社会福祉法人 カリヨンこどもセンター

<対象者>援助ホーム・子どもシェルターを利用している子ども (30歳未満のOB、OGを含む)

<助成内容>就学資金10万円または必要な経費の75%

高校、大学、短大、各種専門学校等へ進学する際にかかる諸経費

<備考>その他にも転居 (5万円)、資格取得 (10万円または必要な費用の75%)、子どもシェルター利用者支援 (5万円) の項目もあり。

19. 公益財団法人明光教育研究所給付奨学金

<助成内容>

- ・最大50万円/1家族
- ・学校の授業料、入学金、施設負担金、給食費、制服代、学校指定備品代、塾・予備校・家庭教師の授業料、通信教育費用、教科書・参考書・問題集の購入費用に限る。

※金額は各使用目的に応じて申告、選考委員会の審査により決定。

※戸籍上家族と認められる兄弟姉妹などは同時に申込可能。

※申込時に申告した事項以外での奨学金の使用は不可。

<対象者>ひとり親家庭、里親家庭、健康上の理由で就労が困難な保護者の子ども、児童養護施設等の施設に入所している子どもなど、特別な考慮に値する事情があり、学習意欲が高くても経済的理由で学習の機会に恵まれない小学生、中学生、高校生、中等教育学校生、特別支援学校生、大学生、高等専門学校生、専門学校生及び大学浪人生。

<備考>他の奨学金制度との併給不可。ただし、国、都道府県、市区町村並びに日本学生支援機構及びあしなが育英会等が行っている各種支援金や補助金等の制度 (奨学金、育英資金等) との併給は可。

20. 日本財団夢の奨学金

<実施者>日本財団

<対象者>社会的養護出身者であり、進学・就職をし自立をめざす、下記の要件に合致した方

- (1) 明確かつ現実的な人生プランが示せる (2) 決めたことは行動に移す実行力がある
 (3) 視野が広く、人間性が豊か (4) 人生プラン実現への強い情熱を持つ
 (5) 後輩が憧れ、目指せるロールモデル性を備える

<助成内容：昨年度の実績> 高校、大学、大学院、短大、専修学校等における卒業までの授業料（年額 124 万円まで）、住宅補助（月額 7 万円）、生活補助（月額 3 万 5 千円）

<備考> 昨年度は中京地区の社会的養護で育った子どもが対象。今年度は対象を全国に拡大予定。詳細は 7 月 1 日 HRP が開設予定とのことで、そこで確認が可能。基本的には支援内容に大きな変更はないとの事。退所者からの申請も可能で、退所後の年数等の規定もないとのこと。別途、職人系の就職者に向けての支援もあり。職人見習い期間の住宅補助（月額 7 万円）、生活補助（月額 3 万 5 千円）。

II 貸付制度（返済義務あり）

1. 自立生活スタート支援事業（東京）

<実施者> 東京都社会福祉協議会

<貸付内容> 就学支度資金 限度額 500,000 円（1 年次および 2 年次の納入金として必要な経費）

<対象> 東京都の児童養護施設、自立支援施設、自立援助ホーム、養育家庭のいずれかを退所予定、または退所してから 5 年以内で、施設等から連絡が取れる者

<備考> 返済の免除について 就学支度資金を借りて進学した学校を卒業すると、免除申請ができる。ただし、卒業できなかった場合は返済の必要がある（無利息、返済期間は 7 年）

2. 生活福祉資金（全国：記載内容は東京都）

<実施者> 各社会福祉協議会

<貸付内容>

- ・ 修学支度費：貸付限度額 500,000 円

入学時のみ。入学時に必要な経費を限度額の範囲で貸付。未払いの経費のみが対象

- ・ 修学費：貸付限度月額 90,000 円（短大・専門学校） 97,500 円（四年生大学）

在学期間中、同額での適用。未払いの期間のみを貸付の対象とする

* 何れも無利息で返済期間は 14 年

<対象> 全国の児童養護施設および母子生活支援施設を退所し、高校卒業後、大学や専門学校等に進学を予定している者

<備考>

- ・ 連帯借受人（1 名）が必要
- ・ 日本学生支援機構第 1 種奨学金との併用は不可

3. 日本学生支援機構奨学金（全国）

<実施者> 独立行政法人 日本学生支援機構

<貸付内容>

- ・第一種奨学金（無利息） 月額 45,000 円～64,000 円 返済期間限度 10～14 年

それぞれ進学する学校種別、自宅通学か否かで異なる

- ・第二種奨学金（利息付）月額 30,000 円～100,000 円（選択）

利息は年利 3% を上限に変動（在学中は無利息）

* 以上は大学等や専門学校等の学費に対する貸付。この他、大学院、高専等についても規定有り

* 入学時特別増額貸与奨学金として、希望により第 1 学年の初回基本月額に 300,000 円を増額して貸与（利息付）

<対象>

- ・第一種奨学金 高 2～3 の評定が、大学・短大は 3.5 以上、専修（専門）は 3.2 以上。世帯収入上限あり

- ・第二種奨学金次の何れかに該当する者

- ①高等学校等における成績が平均水準以上の者
- ②特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者
- ③学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者

<備考>

- ・入学前の予約申し込みは進学する前年に在学する学校、入学後の申し込みは入学した学校の奨学金窓口に出る
- ・機関保証制度がある。（毎月の奨学金から保証料を支払うことで、連帯保証人や保証人に代わって保証機関の保証が受けられる）
- ・生活福祉資金（修学資金・無利子）との併用は不可

4. 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業（全国：2015 年度補正予算新規）

<貸付内容>

- ①就職：家賃×2 年 ②家賃・生活費 5 万×就学年 ③資格取得上限 25 万円（何れも返還免除あり）

<対象>

- ・現に大学等に在学している者若しくは進学する者。
- ・現に就職し継続している者（事業開始日の 2 年を遡った日の属する年度に就職した者を含む）。
- ・資格取得は入所児童等および施設等退所後 4 年以内で大学等の在学者含む。

<備考>

- ・利子なし。連帯保証人原則あり（不要設定も可）。
- ・家賃貸付及び生活費貸付は 5 か年の就業継続、資格取得貸付は 2 か年の就業継続を満たした場合に償還免除。

Ⅲ 児童養護施設出身者のための奨学助成実施大学等

<実施者> 日本社会事業大学・白梅学園大学・白梅学園短期大学・愛知東邦大学・和泉短期大学・埼玉純真短期大学・昭和女子大学・中部学院大学・中部学院大学短期大学部・慈恵福祉保育専門学校・豊橋創造大学短期大学部・新島学園短期大学・日本福祉大学・北陸学院大学・ルーテル学院大学・東京家政学院大学・立教大学 等

<備考>

- ・助成内容・基準は各大学・学校により異なる
- ・詳細は各大学および資生堂社会福祉事業財団のホームページ等を参照

IV 奨学金申請時期

以下のスケジュールは過去の申請期限。変更になる場合があるので、その年度ごとに確認が必要

- 4月 日本学生支援機構 予約奨学金申請 上旬締め切り (高校3年次)
メイスン財団奨学制度 例年4月中旬に申請 (進学後)
タイガーマスク基金 4月末日締め切 (進学後)
- 5月 アトム基金 上旬締め切り (進級時に申請)
産経新聞 明日への旅立ち基金 下旬締め切り
- 8月 朝日新聞 児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金 中旬締め切り
- 9月 読売光と愛・郡司ひさる基金奨学制度 月末締め切り
施設や里親家庭で暮らす若者への入学支援金 月末締め切り
- 10月 資生堂児童福祉奨学生 中旬締め切り
雨宮児童福祉財団 月末締め切り
- 1月 楽天・未来のつばさ自立奨学支援資金 下旬締め切り
- 2月 鯉淵記念「母子生活支援施設等に入所する子等への就学資金助成事業」 下旬締め切り
- 3月 J X 上旬締め切り
G S 新大学支援事業 月末締め切
西脇基金 月末締め切り